

令和4年6月23日（木）博物館地域説明会（富士根南公民館）

<質疑応答>

質問者①

質問：博物館完成後のランニングコストや年間経費はどうなりますか。

回答：ランニングコストについては、基本構想の段階ではまだ具体的には算出できていません。参考までに、富士市では約一億円、全国の市町立博物館では平均五千万円かかっています。

あくまでも運営方法をどうするかは今後の課題で、人件費が博物館経費の中では大きいので、今後具体的な検討を行う中で変わってきます。

質問：市民から、箱物は維持経費が大変だという声が挙がっていると思うので、ある程度いくらかかるのか目安を示していただいた方が皆理解しやすいと思います。施設の負担は税金ですので、働き盛りの人々の意見も聞いていただきたいです。意見がなかなか出なくても、できあがった時にしっかり議事録を残していただきたいです。

質問者②

質問：次のステップで今後の予算を考える、今は博物館の必要性を説明したいということでしたが、予算を含めて博物館が必要かどうかということを考えるべきだと思うので、今後の構想では最初から検討材料とし、皆さんに情報を公開してほしいです。

回答：そのように考えております。今の段階では具体的な経費まで算出できない状態です。次のステップで皆さんの意見をいただきながら進めていきたいと思っております。

質問者③

質問：埋蔵文化財センターは浸水する可能性があるのでは廃止しますとのことでしたが、廃止した建物の処分費も関係してくるんですね？

回答：今回はまだ処分費までは算定していません。

潰すかどうかは決定ではありません。

そもそも埋蔵文化財センターを芝川から移転するかどうかは決定したわけではありませんので、あくまで整備にかかる概算を出すということでご理解いただければと思います。

質問：博物館ができたとき、埋蔵文化財センターが占める割合が20パーセントあるということですね。浸水するから廃止しますというのが今の流れなので、関連したところの経費も考えていったほうがいいと思います。また、建築資材等の単価が1.5～2倍に増えていますが、この単価で大丈夫ですか。

回答：そこは、建物の構造などを絞込む工夫をしなければならない面もあるところです。

他にかかる経費も今後算定していくような形になります。

・質問者③

質問：柚野などにも素晴らしい遺跡があると説明にあったので、一つくらい候補地にあっても良いと思いました。

また、富士宮には文化財がたくさんありますが、もし北部でしたら富士金山や、動植物についても朝霧高原がありますので、そういったところの保護も考えていただきたいです。

回答：いわゆる富士金山については、私どもも調査しなければならないと思いつつ、なかなか人員、技術的な問題で手がつけられない状態です。自然環境についても調査していかなければなりません。

富士宮全体の文化財を説明すると一、二時間では終わらないので、今回は各地域ごとに説明させていただいています。

貴重なご意見ありがとうございます、ぜひ取り組んでいきたいと思っています。

柚野は事務局レベルでは検討したのですがいろいろな障害があり、今回の三つの候補地からは外しています。